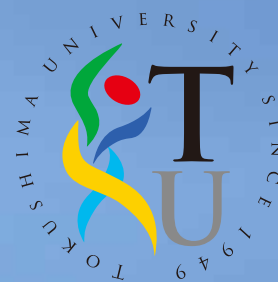


徳島大学 附属図書館 概要



平成 29 年度

The Outline of
Tokushima University Library
2017

徳島大学附属図書館

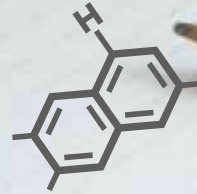
Tokushima University Library

目次

■ 理念・目標	P01
■ 沿革・創成期の図書館	P02
■ 歴代館長・分館長・副館長	P03
■ 組織機構	P04
■ 施設（面積・座席数）	P05
■ 館内図（本館）	P06
■ 館内図（蔵本分館）	P08
■ 蔵書（図書・雑誌）	P10
■ 教育支援	P12
■ 学生協働	P14
■ 研究支援	P16
■ 社会貢献	P18
■ 貴重資料	P20
■ 特殊資料	P22
■ 徳島大学古本募金	P24
■ 所在地・交通案内	P26

理念

徳島大学附属図書館は、徳島大学の理念・目標を実現するため、徳島大学の教育・学修と研究活動を支える重要な学内組織としての役割を担うとともに社会にも開かれた図書館として、学生等利用者の来館型図書館・参加型図書館を目指します。



目標

- (1) 附属図書館は、学生、教職員及び地域住民のニーズを把握し、質の高い利用者サービスの提供に努めます。
- (2) 附属図書館は、学生の主体的な学習に必要な資料を整備するとともに学習形態に即した利用空間・利用環境の提供に努めます。
- (3) 附属図書館は、徳島大学の教育・研究を支える最新の学術情報資料を整備し、多様な学術情報資源の効率的な収集及び管理を行い、学術情報提供の最適化に努めます。
- (4) 附属図書館は、徳島大学における教育・研究成果を積極的に集積し、発信することにより、学術情報の流通推進と国立大学としての社会的責任（教育研究成果の還元、情報公開）を果たせるよう努めます。
- (5) 附属図書館は、所蔵資料の公開等を通じて、地域社会の文化振興に努めます。



【昭和】

- 24. 5 学芸学部, 医学部, 工学部の3図書分館が発足
- 26. 4 薬学部設置により工学部図書分館を併用
- 27. 5 附属図書館(本館)設置
- 27. 5 学芸学部, 工学部の2図書分館を併せて常三島分館と改称
- 27. 5 医学部図書分館を蔵本分館と改称
- 37. 3 蔵本分館書庫新築完成
- 38. 2 蔵本分館事務室新築完成
- 38. 4 薬学部関係図書を常三島分館から蔵本分館へ移転
- 43. 3 常三島分館廃止(本館に包括)
- 46. 3 常三島地区に本館新築完成
- 53. 3 本館書庫を4層から5層に1層増設完成
- 54. 3 蔵本分館増築完成
- 60. 3 本館増築完成

【平成】

- 2. 2 附属図書館専用電子計算機を導入
- 6. 9 蔵本分館(東館)増築完成
- 9. 1 本館学術雑誌閲覧室設置
- 10. 4 附属図書館ホームページ開設
- 10. 4 貴重資料高精細デジタルアーカイブ公開
- 10. 4 図書自動貸出装置を導入
- 10.10 特殊資料閲覧室・展示室の設備
- 12. 3 夜間入退館管理システムを導入(蔵本分館)
- 18. 2 「附属図書館整備計画」策定
- 19.12 蜂須賀家臣団家譜史料データベースの公開
- 21. 3 本館改修竣工
- 21. 5 本館リニューアルオープン(一部開館)
- 21. 6 自動入館システムの開始
- 21. 6 本館リニューアルオープン記念式典, 正式開館
- 21.11 太陽光発電パネル設置竣工(本館)
- 22.10 徳島大学機関リポジトリの正式運用開始
- 24. 1 ラーニング・commons本館1階にオープン
- 24. 3 蔵本分館改修工事竣工
- 24. 5 蔵本分館リニューアルオープン記念式典, 開館
- 25. 3 徳島市立図書館と連携協力に関する協定を締結
- 25. 4 「Study Support Space」運営開始(本館)
- 25.10 「図書館の改革の方針」策定
- 26. 3 「徳島大学附属図書館: 理念・目標と評価指標」制定
- 26.10 中村修二教授 2014 ノーベル物理学賞受賞記念展示
- 27. 1 本館ラーニング・commons整備
- 27. 2 伊能図学習システムの公開
- 28. 1 「オープンアクセスに関する方針」学長裁定
- 29. 3 徳島大学・鳴門教育大学・徳島県・徳島県教育委員会による図書館活動に係る連携協定を締結

【本館】

昭和27年3月に, 学芸学部, 工学部, 薬学部の各分館を併合した図書館が常三島地区に新築され, 4月に各学部分館長(4人)および医学部教官1人からなる図書館協議会を設立し, 附属図書館の機構を中心に協議がはじまり, 本学の附属図書館を本館と2分館(常三島分館, 蔵本分館)により管理運営することとなった。本館の事務組織は, 図書館事務局が大学事務局に設けられ, 職員は事務長1人であった。

附属図書館本館(昭和27年3月竣工の旧常三島分館)



【蔵本分館】

蔵本分館は, 第二次世界大戦の戦禍をまぬがれた旧徳島医学専門学校の基礎教室備えつけの図書・雑誌約2,000冊を収集して, 昭和22年(1947)11月に徳島医学専門学校図書館として, 図書館サービスを行うこととなった。建物は, 旧歩兵第43連隊跡の2階木造兵舎を転用して, 学生閲覧室, 職員閲覧室を設けた。その後, 昭和23年(1948)2月に徳島医科大学図書館, 昭和24年(1949)5月に徳島大学医学部分館, さらに昭和27年(1952)5月に徳島大学附属図書館蔵本分館と改称した。



旧蔵本分館外観(昭和38年頃まで存続)

※1 上記の沿革は, 施設の発足・設置, 新築・増設・改修のほか附属図書館の運用・サービスの上でポイントとなるイベントに限定して掲載。

※2 上記内容は, 「徳島大学五十年史編集委員会(2007). 徳島大学五十年史」49-50p. から一部引用。





歴代館長・分館長・副館長

○ 附属図書館長

初代	松田 亮一 (工学)	昭 27. 5.23~	昭 29. 5.22
2	市来崎 寿蔵 (薬学)	昭 29. 5.23~	昭 31. 5.22
3	市来崎 寿蔵 (薬学)	昭 31. 5.23~	昭 33. 3.31
4	冲野 舜二 (学芸)	昭 33. 4. 1~	昭 35. 3.31
5	高島 律三 (医学)	昭 35. 4. 1~	昭 37. 3.31
6	伊藤 努 (工学)	昭 37. 4. 1~	昭 38. 7.17
7	田村 昇 (薬学)	昭 38. 7.18~	昭 40. 7.17
8	宮城 文雄 (教育)	昭 40. 7.18~	昭 42. 7.17
9	鈴木 幸夫 (医学)	昭 42. 7.18~	昭 44. 7.17
10	鈴木 幸夫 (医学)	昭 44. 7.18~	昭 46. 7.17
11	丸山 隆玄 (工学)	昭 46. 7.18~	昭 48. 7.17
12	丸山 隆玄 (工学)	昭 48. 7.18~	昭 49. 4. 1
13	吉田 長之 (医学)	昭 49. 4. 2~	昭 51. 4. 1
14	冨本 健輔 (教養)	昭 51. 4. 2~	昭 53. 4. 1
15	松本 淳治 (医学)	昭 53. 4. 2~	昭 55. 4. 1
16	竹治 貞夫 (教育)	昭 55. 4. 2~	昭 57. 4. 1
17	小林 茂 (薬学)	昭 57. 4. 2~	昭 59. 4. 1
18	浦川 和馬 (工学)	昭 59. 4. 2~	昭 60. 4.18
(取)	川田 十三夫 (医学)	昭 60. 4.18~	昭 60. 7.31
19	川田 十三夫 (医学)	昭 60. 8. 1~	昭 62. 7.31
20	須鎗 和巳 (教養)	昭 62. 8. 1~	平元. 7.31
21	宮本 博司 (医学)	平元. 8. 1~	平 3. 7.31
22	後藤 健次 (総合)	平 3. 8. 1~	平 5. 7.31
23	井上 秀夫 (歯学)	平 5. 8. 1~	平 7. 7.31
24	青山 吉隆 (工学)	平 7. 8. 1~	平 8. 3.31
25	河野 清 (工学)	平 8. 4. 1~	平 9. 3.31
26	寺田 弘 (薬学)	平 9. 4. 1~	平 11. 3.31
27	岩田 紀 (総合)	平 11. 4. 1~	平 13. 3.31
28	森田 雄介 (医学)	平 13. 4. 1~	平 15. 3.31
29	林 弘 (工学)	平 15. 4. 1~	平 17. 3.31
30	細井 和雄 (歯学)	平 17. 4. 1~	平 19. 3.31
31	石川 榮作 (総合)	平 19. 4. 1~	平 21. 3.31
32	際田 弘志 (薬学)	平 21. 4. 1~	平 23. 3.31
33	野地 澄晴 (工学)	平 23. 4. 1~	平 24. 3.31
34	青江 順一 (工学)	平 24. 4. 1~	平 25. 3.31
35	福井 義浩 (医学)	平 25. 4. 1~	平 27. 3.31
36	吉本 勝彦 (歯学)	平 27. 4. 1~	平 29. 3.31
37	吉本 勝彦 (歯学)	平 29. 4. 1~	

○ 附属図書館副館長

初代	依岡 隆児 (総合)	平 26. 4. 1~	平 27. 3.31
初代	吉本 勝彦 (歯学)	平 26. 4. 1~	平 27. 3.31
2	依岡 隆児 (総合)	平 27. 4. 1~	平 28. 3.31
2	鶴尾 吉宏 (医学)	平 27. 4. 1~	平 28. 3.31
3	依岡 隆児 (総合)	平 28. 4. 1~	平 29. 3.31
4	依岡 隆児 (総合)	平 29. 4. 1~	
4	武藤 裕則 (理工)	平 29. 4. 1~	

○ 常三島分館長

初代	岸本 実 (学芸)	昭 27. 5.23~	昭 29. 5.22
2	安村 二郎 (工学)	昭 29. 5.23~	昭 31. 5.22
3	冲野 舜二 (学芸)	昭 31. 5.23~	昭 33. 3.31
4	平形 照男 (薬学)	昭 33. 4. 1~	昭 35. 3.31
5	久米 泰三 (工学)	昭 35. 4. 1~	昭 37. 3.31
6	富野 敬邦 (学芸)	昭 37. 4. 1~	昭 39. 3.31
7	杉野 捨三郎 (工学)	昭 39. 4. 1~	昭 41. 3.31
8	幸泉 芳夫 (教育)	昭 41. 4. 1~	昭 43. 3.31

昭和 43 年 3 月 31 日廃止 (本館に包括)

○ 蔵本分館長

初代	黒田 嘉一郎 (医学)	昭 27. 7.22~	昭 29. 3.31
2	梶本 義衛 (医学)	昭 29. 4. 1~	昭 31. 3.31
3	吉田 長之 (医学)	昭 31. 4. 1~	昭 33. 3.31
4	新見 嘉兵衛 (医学)	昭 33. 4. 1~	昭 35. 3.31
5	高島 律三 (医学)	昭 35. 4. 1~	昭 37. 3.31
6	高島 律三 (医学)	昭 37. 4. 1~	昭 39. 3.31
7	棚瀬 弥一郎 (薬学)	昭 39. 4. 1~	昭 41. 3.31
8	鈴木 幸夫 (医学)	昭 41. 4. 1~	昭 42. 7.17
9	四方 一郎 (医学)	昭 42. 7.18~	昭 45. 3.31
10	小林 茂 (薬学)	昭 45. 4. 1~	昭 47. 3.31
11	山田 正興 (医学)	昭 47. 4. 1~	昭 49. 3.31
12	川田 純 (薬学)	昭 49. 4. 1~	昭 51. 3.31
13	松本 淳治 (医学)	昭 51. 4. 1~	昭 53. 3.31
14	亀谷 富士夫 (薬学)	昭 53. 4. 1~	昭 55. 3.31
15	檜澤 一夫 (医学)	昭 55. 4. 1~	昭 57. 3.31
16	高田 充 (歯学)	昭 57. 4. 1~	昭 59. 3.31
17	川田 十三夫 (医学)	昭 59. 4. 1~	昭 60. 7.31
18	塚谷 博昭 (薬学)	昭 60. 8. 1~	昭 63. 3.31
19	宮本 博司 (医学)	昭 63. 4. 1~	平元. 7.31
20	坂東 永一 (歯学)	平元. 8. 1~	平 3. 3.31
(取)	宮本 博司 (医学)	平 3. 4. 1~	平 3. 7.31
21	山下 卓哉 (薬学)	平 3. 8. 1~	平 5. 7.31
22	森田 雄介 (医学)	平 5. 8. 1~	平 7. 7.31
23	上村 修三郎 (歯学)	平 7. 8. 1~	平 9. 7.31
24	石村 和敬 (医学)	平 9. 8. 1~	平 11. 7.31
25	山内 卓 (薬学)	平 11. 8. 1~	平 13. 7.31
26	細井 和雄 (歯学)	平 13. 8. 1~	平 15. 7.31
27	泉 啓介 (医学)	平 15. 8. 1~	平 17. 7.31
28	樋口 富彦 (薬学)	平 17. 8. 1~	平 19. 7.31
29	福井 義浩 (医学)	平 19. 8. 1~	平 21. 7.31
30	福井 義浩 (医学)	平 21. 8. 1~	平 22. 3.31
31	吉本 勝彦 (歯学)	平 22. 4. 1~	平 24. 3.31
32	長篠 博文 (医学)	平 24. 4. 1~	平 26. 3.31
33	南川 典昭 (薬学)	平 26. 4. 1~	平 28. 3.31
34	鶴尾 吉宏 (医学)	平 28. 4. 1~	

(取)は「事務取扱」の意

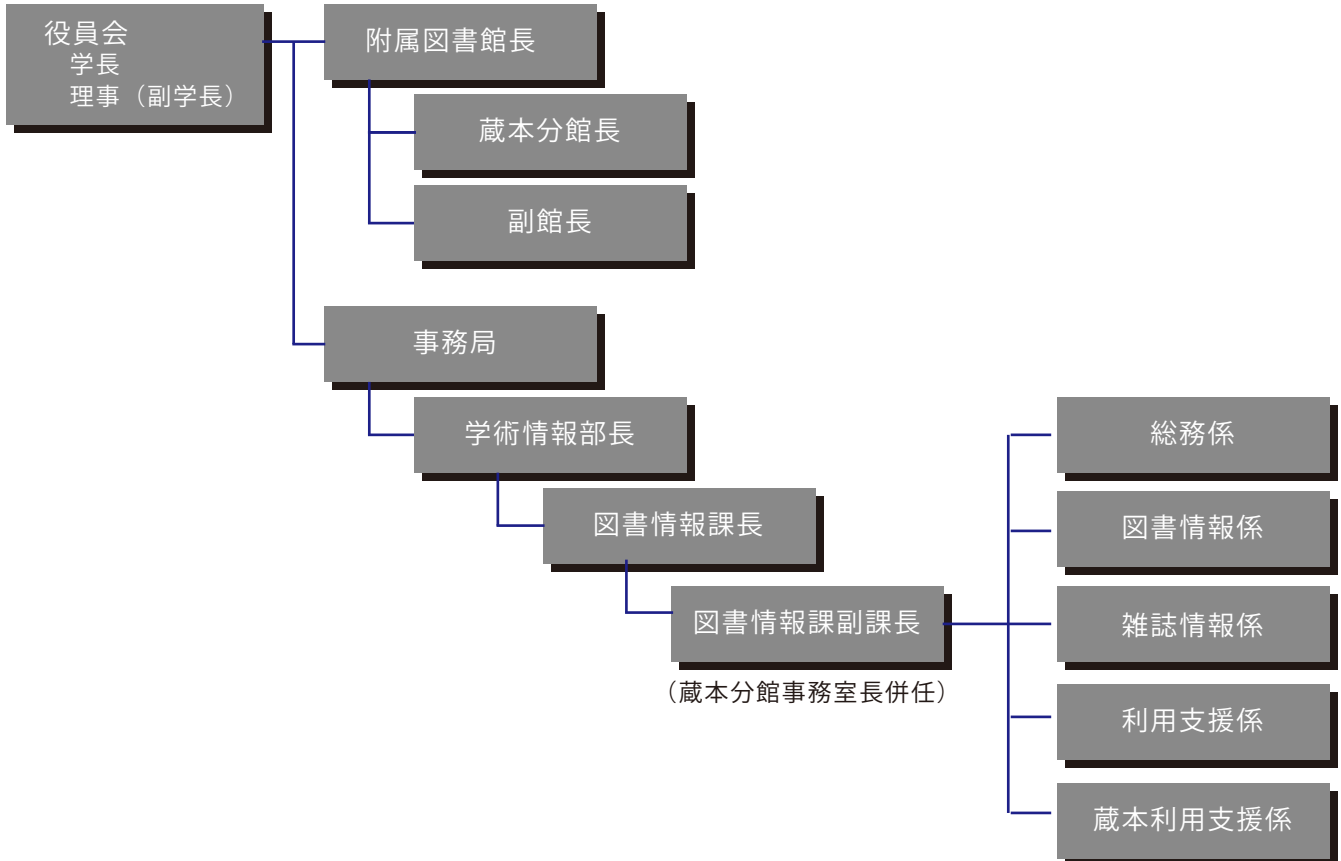




組織機構

組織図

平成 29 年 4 月 1 日現在



職員数

	職員	有期雇用職員		合計
		契約	パート	
本館				
部長	1			1
課長	1			1
総務係	1	1	1	3
図書情報係	2		2	4
雑誌情報係	2		2	4
利用支援係	2		4 (6)	6 (6)
小計	9	1	9 (6)	19 (6)
蔵本分館				
副課長 (室長併任)	1			1
蔵本利用支援係	3		5 (6)	8 (6)
小計	4		5 (6)	9 (6)
合計	13	1	14 (12)	28 (12)

() 内は時間外開館要員：外数





施設（面積・座席数）

施設【面積】

(単位：㎡)

	サービススペース			管理スペース			合計
	閲覧スペース	視聴覚スペース	その他	書庫	事務スペース	その他	
本館	1,881	261	694	1,163	426	687	5,112
蔵本分館	1,041	312	572	623	235	384	3,167
合計	2,922	573	1,266	1,786	661	1,071	8,279

施設【座席数】

【本館】

階	室名	座席数	備考
1	カフェテリア	48	
	新着雑誌コーナー	5	
	グループ研究室	16	
	ラーニング・コモンズ	71	
	視聴覚コーナー	12	
	1階マルチメディアコーナー	32	
	サービスカウンター	0	
	事務室（1階）	0	
	1階西書庫	0	
	小計	184	
2	2階東閲覧室	112	
	2階学習室	63	車椅子用 1
	2階西閲覧室	74	
	研究個室	5	
	和装本資料室	2	
	マイクロ資料室	1	
小計	257		
3	3階東閲覧室	64	
	3階ホール	17	車椅子用 1
	研究個室	3	
	3階マルチメディアコーナー	26	
	多目的ホール	87	
	事務室（3階）	0	
	小計	197	
積層	第3層～第4層	0	
	小計	0	
合計	638		

【蔵本分館】

階	室名	座席数	備考
1	事務室	0	
	南書庫	4	
	新聞コーナー	6	
	資料室	0	
	ラーニング・コモンズ	36	
	リフレッシュコーナー	15	
	サービスカウンター	0	
	雑誌書庫	0	
	新着雑誌コーナー	0	
	複写コーナー	0	
小計	61		
2	視聴覚コーナー	3	
	マルチメディアルーム	42	
	生命科学閲覧室	88	
	中央閲覧室	40	
	北学習室	104	
	南学習室	48	
	グループ学習室 1	10	
	グループ学習室 2	10	
	グループ学習室 3	8	
	グループ学習室 4	8	
	ミーティングルーム 1	16	
	ミーティングルーム 2	16	
	ブラウジングコーナー	0	
小計	393		
合計	454		





1F

協調学習と資料保存のフロア

1階は
会話OK



📷 J1 本館玄関

IC対応の学生証や職員証、バーコード入館証に対応。



📷 J2 カフェテリア

コミュニケーションの象徴。自動販売機・複写機を設置。



📷 J3 中央書庫周辺

洋雑誌のバックナンバーなどを開架式の集密書架に配架。



📷 J4 1階西書庫

古い蔵書、研究室返却図書を集密書架に配架・保存。



📷 J5 1階マルチメディアコーナー

学生用のパソコンを設置。会話しながら利用できる。



📷 J6 ラーニング・commons

学生のグループ学習や講義、イベント等に利用できる。



📷 J7 グループ研究室

数名のグループによるディスカッションなどに最適。



📷 J8 視聴覚コーナー

図書館で所蔵している映像・音楽資料を楽しむ。



ラーニング・commonsのパノラマ写真

- 📌 カウンター
- 📌 廊下・ラウンジ
- 📌 閲覧室・自習席
- 📌 マルチメディア
- 📌 ユーティリティ
- 📌 書庫・書架

- 📌 エレベーター
- 📌 階段
- 📌 自動体外式除細動器 (心臓停止時の救命装置)
- 📌 トイレ
- 📌 車イス用トイレ
- 📌 自動販売機
- 📌 複写機
- 📌 学生用パソコン
- 📌 視聴覚機器
- 📌 天吊式プロジェクター

📷 J9 和装本資料室・貴重資料室

本学の貴重資料を管理・調湿保存している2階特別書庫。



2F 自然科学系・社会系図書と自学自習のフロア

2階は
お静かに



 J10 2階研究個室

写真奥に見えるのが研究個室。パソコンを設置。



 J11 2階西閲覧室

社会系の学生用図書を配架。窓際に学習席を配置。



 J12 2階学習室

個人ブースを設置。学生に人気のエリア。



 J13 2階東閲覧室

自然科学系の学生用図書を配架。窓際に学習席を配置。



3F 人文系図書と資料保存のフロア

3階は
お静かに



 J14 多目的ホール

学術講演会や会議など多目的に利用できる。



 J15 3階マルチメディアコーナー

講習会やレポート作成に利用できる学生用パソコンを設置。



 J16 4階書庫

3階・4階の書庫には、和雑誌のバックナンバーを配架。



 J17 3階東閲覧室

人文系の学生用図書を配架。窓際に学習席を配置。





1F

協調学習と資料保存のフロア

1階は
会話OK



📷 K1 正面玄関

雨避けの庇と車イス用スロープ完備。南壁にブックポスト設置。



📷 K2 南書庫

古くなった資料，厚生労働省報告書などを配架・保存。



📷 K3 テーマ展示

生命科学関係を中心としたテーマで図書やアプリを紹介。



📷 K4 複写コーナー

図書館資料を著作権の範囲で複写できる（有料）。



📷 K5 新聞コーナー

毎日の新聞を閲覧できる。新着雑誌も近くに配架。



📷 K6 リフレッシュコーナー

自動販売機を設置。雑談や飲食をしながら気分転換。



📷 K7 雑誌書庫

雑誌のバックナンバーを開架式の集密書架に配架。



📷 K8 ラーニング・commons

学生のグループ学習や講義に使うことができる。



- 📌 カウンター
- 📌 廊下・ラウンジ
- 📌 閲覧室・自習席
- 📌 マルチメディア
- 📌 ユーティリティ
- 📌 書庫・書架

- 📌 エレベーター
- 📌 階段
- 📌 自動体外式除細動器 (心臓停止時の救命装置)
- 📌 トイレ
- 📌 車イス用トイレ
- 📌 自動販売機
- 📌 複写機
- 📌 教育用パソコン
- 📌 視聴覚機器
- 📌 天吊式プロジェクター

📷 K9 西出入口

ラーニング・commonsの西側にも図書館出入口を配置。



2F 閲覧室と学習室のフロア

右図の黄色で示す
室内は会話OK



上記以外の区域は
お静かに



📷 K10 ミーティングルーム

セミナー等に利用でき、間仕切りを外すと、32人用の部屋になる。



📷 K11 グループ学習室

少人数利用に適した部屋が4室あり、PCやBIGPADを備えている。



📷 K12 北学習室

個人ブースと資料を広げて使える机を配置した学習室。



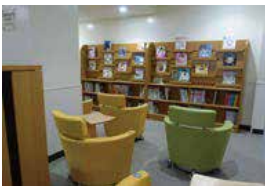
📷 K13 マルチメディアルーム

学生用のパソコンを設置。



📷 K14 ブラウジングコーナー

週刊誌や軽い読み物をゆったりとソファで利用できる。



📷 K15 視聴覚コーナー

生命科学や語学を中心とした視聴覚資料を利用できる。



📷 K16 南学習室

学生が静かに集中して勉強するための学習室。



📷 K17 中央閲覧室

社会福祉や語学、小説など生命科学以外の図書を配架。



📷 K18 生命科学閲覧室

生命科学系の学生用図書や参考図書を配架。



📷 K19 授業サポートナビ

教員紹介の講義図書をまとめて生命科学閲覧室に設置。



電子黒板 [BIGPAD] の活用

徳島大学附属図書館では本館・分館の協同学習を行える空間に電子黒板 [BIGPAD] を設置している。蔵本分館では1階のテーマ展示や2階グループ学習室の各室に設置して、展示アプリの表示ディスプレイに使ったりグループ学習や授業に使われている。





蔵書（図書・雑誌）

蔵書数【図書】

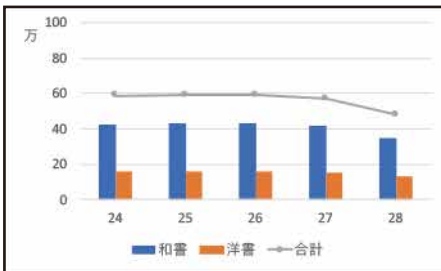
附属図書館における過去10年間（平成19年度～平成28年度）の図書蔵書数・年間受入図書冊数を一覧表で示し、平成28年度から過去5年間を縦棒グラフ（一部、折れ線グラフ）で下記に示す。

■ 10年間の図書蔵書数【図書】推移

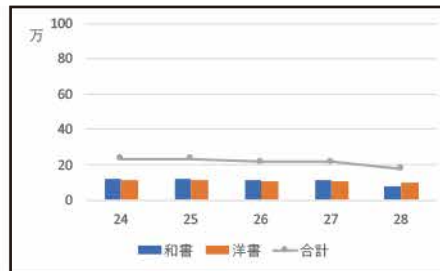
蔵書（図書）	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
本館	和書	417,674	421,014	426,127	428,773	429,964	427,476	429,883	431,481	419,190	344,925
	洋書	159,826	160,316	160,194	160,352	159,923	159,817	159,666	158,592	150,861	132,553
	合計	577,500	581,330	586,321	589,125	589,887	587,293	589,549	590,073	570,051	477,478
蔵本分館	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	和書	117,998	117,985	115,394	116,865	118,353	120,061	120,729	111,334	113,339	81,614
	洋書	117,580	117,056	115,052	113,976	113,887	113,332	112,684	104,016	104,140	97,801
合計	235,578	235,041	230,446	230,841	232,240	233,393	233,413	215,350	217,479	179,415	
合計	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	和書	535,672	538,999	541,521	545,638	548,317	547,537	550,612	542,815	532,529	426,539
	洋書	277,406	277,372	275,246	274,328	273,810	273,149	272,350	262,608	255,001	230,354
合計	813,078	816,371	816,767	819,966	822,127	820,686	822,962	805,423	787,530	656,893	

*各年度未現在 *製本雑誌を含む

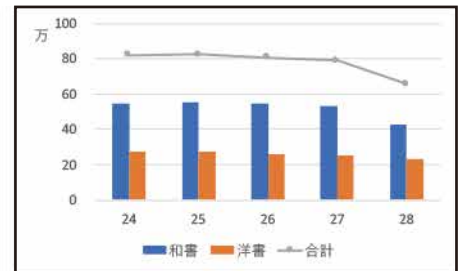
本館（図書と製本雑誌冊数）



蔵本分館（図書と製本雑誌冊数）



合計（図書と製本雑誌冊数）

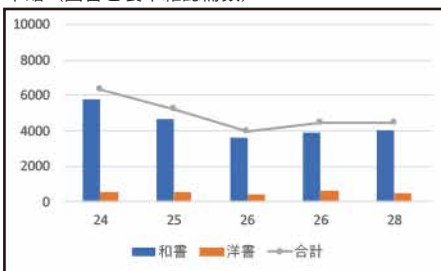


■ 10年間の年間受入図書冊数【図書】推移

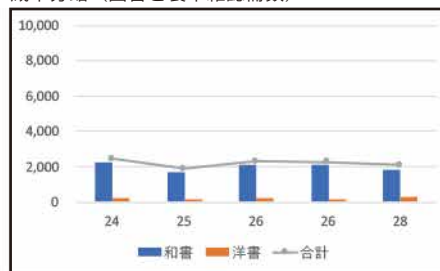
受入数（図書）	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
本館	和書	5,936	4,989	5,707	5,980	5,776	5,746	4,690	3,582	3,860	3,998
	洋書	1,446	733	589	744	549	554	521	368	579	438
	合計	7,382	5,722	6,296	6,724	6,325	6,300	5,211	3,950	4,439	4,436
蔵本分館	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	和書	1,710	1,851	2,423	2,341	1,725	2,252	1,723	2,119	2,088	1,800
	洋書	1,089	723	259	307	210	206	153	197	187	299
合計	2,799	2,574	2,682	2,648	1,935	2,458	1,876	2,316	2,275	2,099	
合計	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	和書	7,646	6,840	8,130	8,321	7,501	7,998	6,413	5,701	5,948	5,798
	洋書	2,535	1,456	848	1,051	759	760	674	565	766	737
合計	10,181	8,296	8,978	9,372	8,260	8,758	7,087	6,266	6,714	6,535	

*各年度未現在 *製本雑誌を含む

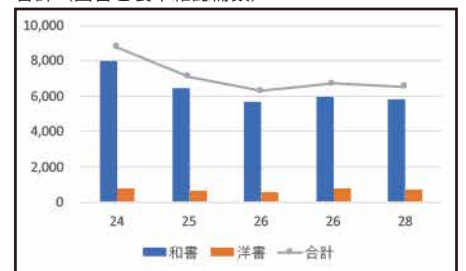
本館（図書と製本雑誌冊数）



蔵本分館（図書と製本雑誌冊数）



合計（図書と製本雑誌冊数）



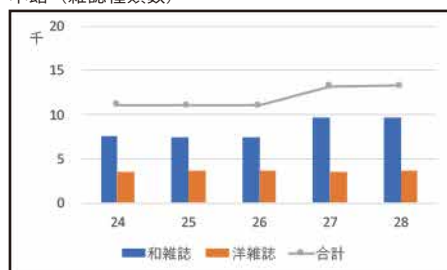
蔵書数【雑誌】

附属図書館における過去10年間（平成19年度～平成28年度）の雑誌種類数・年間受入雑誌種類数を一覧で示し、平成28年度から過去5年間の縦棒グラフ（一部、折れ線グラフ）で下記に示す。

■ 10年間の雑誌種類数【雑誌】推移

蔵書（雑誌）	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
		本館	和雑誌	7,156	7,297	7,335	7,425	7,481	7,514	7,418	7,417
	洋雑誌	3,520	3,529	3,536	3,551	3,560	3,564	3,626	3,597	3,592	3,604
	合計	10,676	10,826	10,871	10,976	11,041	11,078	11,044	11,014	13,201	13,263
蔵本分館	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	和雑誌	3,158	3,178	3,190	3,194	3,201	3,213	3,230	3,243	3,213	3,231
	洋雑誌	3,091	3,103	3,107	3,112	3,113	3,117	3,118	3,112	3,288	3,287
	合計	6,249	6,281	6,297	6,306	6,314	6,330	6,348	6,355	6,501	6,518
合計	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	和雑誌	10,314	10,475	10,525	10,619	10,682	10,727	10,648	10,660	12,822	12,890
	洋雑誌	6,611	6,632	6,643	6,663	6,673	6,681	6,744	6,709	6,880	6,891
	合計	16,925	17,107	17,168	17,282	17,355	17,408	17,392	17,369	19,702	19,781

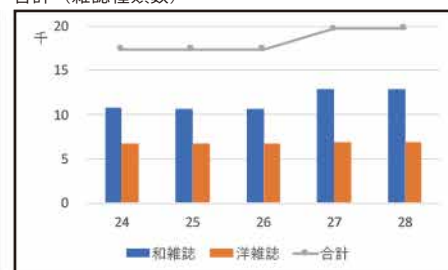
本館（雑誌種類数）



蔵本分館（雑誌種類数）



合計（雑誌種類数）

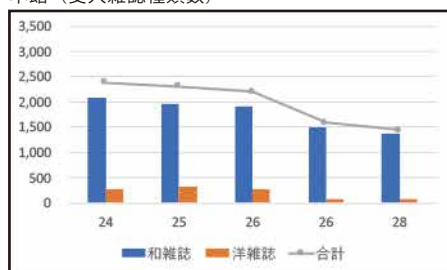


■ 10年間の年間受入雑誌種類数【雑誌】推移

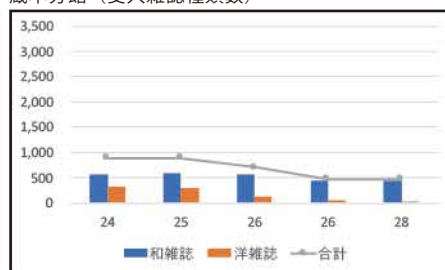
受入数（雑誌）	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
		本館	和雑誌	3,326	3,362	2,365	2,181	2,241	2,093	1,971	1,919
	洋雑誌	439	409	346	399	397	283	332	283	85	67
	合計	3,765	3,771	2,711	2,580	2,638	2,376	2,303	2,202	1,586	1,438
蔵本分館	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	和雑誌	1,405	1,406	646	597	588	576	595	570	435	445
	洋雑誌	689	677	323	472	498	317	299	140	43	37
	合計	2,094	2,083	969	1,069	1,086	893	894	710	478	482
合計	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	和雑誌	4,731	4,768	3,011	2,778	2,829	2,669	2,566	2,489	1,936	1,816
	洋雑誌	1,128	1,086	669	871	895	600	631	423	128	104
	合計	5,859	5,854	3,680	3,649	3,724	3,269	3,197	2,912	2,064	1,920

*各年度末現在

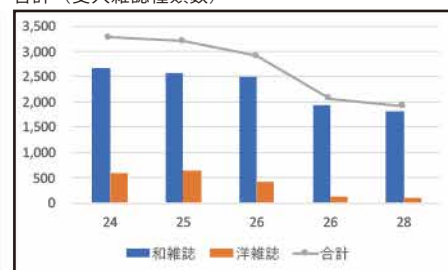
本館（受入雑誌種類数）



蔵本分館（受入雑誌種類数）



合計（受入雑誌種類数）



① 文献検索講習会等の実施

情報調査・情報活用，課題解決能力等の修得を支援するため，文献検索講習会等を継続して実施している。また，医療系の専門ワークショップを徳島県地域医療支援センター（大学病院内）と連携して開催している。



② 授業サポートナビの充実

「授業サポートナビ」とは学生の自主的学修を促すため，各分野の参考図書や関係する Web サイトについて，教員にご紹介していただき公開するサービス。蔵本分館では，授業サポートナビの図書を科目ごとに配架した専用コーナーを設けている。本館・蔵本分館を合わせて，98種類の「授業サポートナビ」を公開している。（平成29年8月1日現在）



③ 蔵本分館におけるテーマ展示

蔵本分館では，学修支援の一環として蔵本地区教員による監修のもと，生命科学に関する旬のテーマや1つの分野に収まらない学際的なテーマを取り上げ，関連する図書や雑誌，アプリやウェブサイトなどの展示を年間を通じて行っている。



展示の様子

④ 本館における英語多読ラリー

本館では，辞書なしでも読むことのできる英語多読向けの図書を多く揃えて，1階に多読コーナーを設置。学内利用者を対象に英語多読ラリーを実施し，読書量に応じて図書館長サインの認定書を発行している。



⑤ 学生ブックハンティングの実施（学生選書）

学生選書の一環として，学生自身が大学生協や市内書店に出向いて，学修に必要で図書館に置いてもらいたい本を学生目線で選書するという，毎年数回実施の企画。



実際の様子

⑥ ラーニング・コモンズ等の活用

本館・蔵本分館には話しながら学修ができるラーニング・コモンズを設けている。本館では学生のための自由な教育支援の場として，蔵本分館では講習会の開催や履修相談会，イベントなど各種活動の場として利用できる。



本館の様子



学生入館者数・貸出冊数 ※1

46 万人



6 万 3 千冊



大学図書館は学生のための知識と学びのワンダーランド

データで見る

図書館の 教育支援

講習会等実施回数・参加人数 ※1

104 回 3,239 人



講習会・ガイダンス等は学術情報の探し方を学ぶ近道

図書蔵書数 ※1

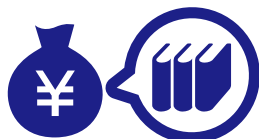
66 万冊



積み重ねると 16.5km ※2
眉山の約 57 倍、オゾン層に達する

学生用図書購入経費 ※1

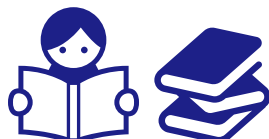
1,745 万円



学生用図書は知識の種

学生用図書受入数 ※1

4,725 冊



今でも冊子の学生用図書の必要性は変わらない

学生一人当たりの冊数 ※1

0.61 冊



図書館の座席数 ※1

1,092 席



座席数は新幹線 1 編成 (16 両) の
乗車率 80% とほぼ同じ ※3

ラーニング・コモンズ等利用件数・利用人数 ※1

9,700 件 3 万人



ラーニング・コモンズは学生が活発に利用してこそ価値あり

※1「徳島大学附属図書館年次報告書 平成 28 年度」p.7~p.9, p.11~p.12, p.14~p.15 参照 (図書館としての数値: または本館と蔵本分館の合計値)

※2 本の厚みを 1 冊 2.5cm とした場合。国土地理院 HP (<https://maps.gsi.go.jp>) によると徳島市を象徴する眉山は標高 290m。

環境省 HP (<http://www.env.go.jp/earth/ozone/month/index.html>) によると、オゾン層は上空約 15~50km の成層圏を示す。

※3 新幹線は 1 編成は 16 両、座席数は 1,323 席 (普通車 1,123 席 グリーン車 200 席)。



① 徳島大学附属図書館の学生協働

学びサポート企画部

図書館では、平成 21 年度の本館リニューアル以降、平成 24 年度には蔵本分館リニューアル、さらに本館のレイアウト変更やラーニング・commonsの充実などを契機として、学生との連携による活動面の充実を進めている。図書館が関与している学生サークルとして、「学びサポート企画部」、「阿波ビブリオバトルサポーター」、「ライブラリー・ワークショップ」の3団体がある。



阿波ビブリオバトルサポーター



ライブラリー・ワークショップ



② Study Support Space (SSS)

SSS は本館のピア・サポートルームにて、徳島大学生の学習に関する相談に対応する企画。平成 25 年 4 月に開設。授業内容に関する質問、レポートの書き方、学習の仕方など、学生のような相談に対し、助言や学習支援を行っている。相談に対応するのは、徳島大学の教員・図書館員と大学院生、学部学生。大学の授業期の平日は毎日実施している。



③ レポートの書き方講座の開催

平成 26 年度から徳島大学の教員の協力を得て、新入生を対象としたレポートの書き方講座を開催。平成 29 年度は新入生をターゲットとして、理系レポートと文系レポートに分けて二日間開催。これとは別に、少人数参加型のレポートの書き方講座も開催し、実際にレポートを書きながら、実践的な指導を受けられる環境も用意している。加えて、学生からの要望を受けて、上級生対象の実験レポートの書き方講座も開催。



<文系レポート講座>



<理系レポート講座>



図書館で学生協働を行う学生数・指導教員数 ※1

学生 19人 教員 13人



図書館は学生にとって出会い、発見、そして自分磨きの場

データで見る

図書館の 学生協働

SSS 相談回数・利用学生数・開設コマ数 ※1

222回 317人 152コマ



レポートの書き方
数学、物理、化学
などなど

前期 (4月~7月)
98コマ



夏季休業期

後期 (10月~2月)
54コマ



春季休業期

学生からの学びに関する相談窓口として SSS は有意義で、利用した学生の評価が高い取り組み

SSS で最も相談が多い科目 ※1

数学 88回



Mathematics

ちなみに、
2位 物理 46回
3位 レポートの書き方
23回

数学は論理的思考力を鍛える学問

図書館学生協働交流シンポジウムへの参加人数 ※1 ※2

学生 4人 職員 2人



徳島大学の学生・職員
は大学図書館学生協働
交流シンポジウムに第
3回から連続して数名
が参加している。

人と交わり・語り合い・共に働きながら何かが生まれる

図書館で行った
学生企画の活動回数 ※1

14回



ポフコンテスト
ビアリオバトル
留学イベント
本の展示
学生のコパナシ
教育カンファレンス
での発表

学生の主体的活動が図書館を潤す

レポートの書き方講座の開催数・参加学生数 ※1

1回 93人



新生が大学における学習を行うために必要と
なるレポート作成の基本事項を教員が指導。

レポートの書き方講座は新生に大人気の講座

※1 図書館学生協働に係る平成 28 年度実績

※2 図書館学生協働シンポジウムへのこれまでの延べ参加人数は、学生 10 名・図書館職員 6 名である。



① オープンアクセスの推進・普及

「徳島大学におけるオープンアクセスに関する方針」(平成28年1月19日学長裁定)に基づき、オープンアクセスを推進・普及するため図書館では学内研究者の理解と協力を得るための取り組みを行っている。



オープンアクセスのロゴタイプ

④ オープンアクセスの登録ガイドライン

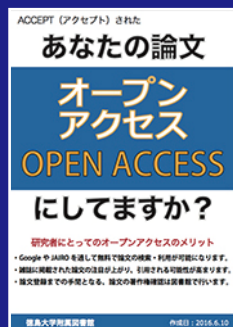
図書館では学内研究者にオープンアクセスへの一層の理解を深めてもらうため、「徳島大学におけるオープンアクセスに関するガイドライン」を平成28年度に作成・公開している。



2014年ノーベル物理学賞を受賞された中村修二教授は平成6年度に本学で博士(工学)の学位を取得されており、同氏の博士論文「InGaN高輝度青色LEDに関する研究」を本学機関リポジトリに登録している。

② 徳島大学機関リポジトリへの代行登録

オープンアクセスの推進を目指して研究者から寄せられる研究成果を徳島大学機関リポジトリに登録するため、図書館職員は専門的な見地から、著作権確認や代行登録の一連作業によって研究者をサポートしている。



⑤ 電子ジャーナル等の整備と利用支援

徳島大学の学術研究基盤として重要な電子ジャーナル及び文献データベースについては、学内合意を基本として全学共通経費等により整備し、利用環境を整えている。右図は国際的な総合科学ジャーナル「Nature」トップページ。



③ 学外図書館等からの文献入手及び資料貸借

研究者からの申し込みを受けて、電子資料で入手できない文献や館内に所蔵していない資料を、図書館ネットワークを通じて取り寄せるサービスを提供している(有償)。右画面はホームページからの文献取寄せの申し込み画面。



⑥ 研究室・図書館資料の受入手続き

学内の研究室で購入する研究目的の資料についても、図書館で受入手続きを行っている。希望された研究者のところへ資料を迅速に届けるため、図書館職員の経験を生かしたサービスを心がけている。右写真は本館受入前の図書。

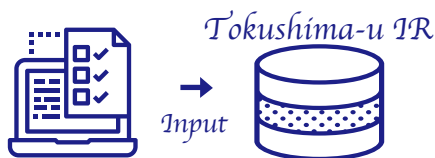


機関リポジトリ登録数 ※1

電子ブック冊数 ※1 ※2

1万6千件

7,353件



オープンアクセスはこれからの学術情報流通の主流

データで見る 図書館の 研究支援

教職員入館者数 ※1

教職員貸出冊数 ※1

2万3千人

1万2千冊



来館型の研究支援も重要

年間受入図書冊数 ※1

6,535冊

年間受入雑誌種類数 ※1(12p.)

1,920種

図書購入・雑誌契約も図書館業務

電子資料購入経費 ※1 ※3

電子ジャーナルタイトル数・利用件数 ※1

2億500万円 5,461種類 52万件



電子資料の価格高騰が問題化



電子ジャーナルは図書館の研究支援として重要



データベース利用件数 ※1 ※4

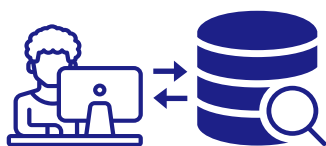
医中誌 Web 利用件数 ※1

SciFinder 利用件数 ※1

37万6千件

2万件

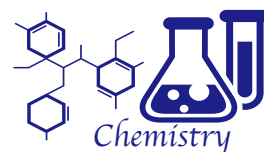
2万件



データベース検索は研究の基本



主要なデータベースは学術研究の様々なシーンで利用



※1「徳島大学附属図書館年次報告書 平成28年度」p.7~p.8, p.10, p.12~p.13, p.15 参照 (図書館としての数値：または本館と蔵本分館の合計値)

※2 徳島大学附属図書館では、SpringerLink, NetLibrary(EBSCOhost), Maruzen eBook Library, Medical Online E-Books の電子ブックを提供している。

※3 図書館で手続きして購入した大学全体の電子資料購入経費を示す。研究費で購入した電子資料を含む。

※4 利用件数が最も多いデータベースは、「CiNii Articles」で12万5千件、「Web of Science」(H29~中止)は13万9千件で全体の半分以上を占める。





社会貢献

①一般市民への 図書館公開

図書館では昭和63年度から貸出を含めた一般の方への利用サービスを行っている。利用申請手続きを簡素化しているので、申込み当日から利用できる。一般利用者の貸出条件は以下のとおりである。

	冊数	期間
本館	5冊	14日間
蔵本分館	3冊	

教育・研究目的に整備している電子ジャーナルやデータベースも来館者については、館内での利用を認めている（一部、利用を認めていない電子ジャーナルやデータベースがある）。



②貴重資料のデジタル化 とインターネット公開

図書館では貴重資料のデジタル化を順次実施している。これまでに「近世古地図・絵図コレクション」を高精細画像化して「貴重資料高精細デジタルアーカイブ」として公開、また「蜂須賀家家臣成立書并系図」は画像データベース化して公開した。更に、伊能図の高精細画像と地理情報システムを連携させた「伊能図学習システム」を公開している（各システムの画面はp.21を参照）。

③徳島県内図書館の 横断検索（県立図書館）

徳島県立図書館が運用する統合情報検索サービスに参画。このサービスによって、徳島大学附属図書館と鳴門教育大学附属図書館、徳島県内の主要な公共図書館の蔵書を横断検索することができる。

④鳴門教育大学・徳島県・ 徳島県教育委員会との 図書館活動に関する連 携による取り組み

⑤徳島市立図書館との連 携による取り組み

図書館は、平成25年度に徳島市立図書館、平成28年度に鳴門教育大学・徳島県・徳島県教育委員会との間で図書館活動に関する協定を締結し、本協定に基づいて連携の各種取り組みを協力して行っている。代表的な事例として、



【鳴門教育大学附属図書館・徳島県立図書館】

- ・図書館員研修
- ・巡回展示

【徳島市立図書館】

- ・移動図書館車
 - ・医療講座
 - ・図書館員研修
- などを実施。



⑥学術講演会・各種展示 等の開催

図書館では、毎年秋に一般市民・学内教職員・学生を対象として、本学教員等を講師とした学術講演会を開催している。テーマは郷土徳島に関連したことや、一般市民の興味のある事柄・事象をヒントに設定している。

また、本館や蔵本分館ではテーマを設定した資料展示を実施している。



一般利用者の登録者数・入館者数 ※1

2,028人 2万6千人



利用登録



ようこそ
徳大図書館へ

大学図書館の一般利用者公開は地域の生涯学習に貢献

データで見る 図書館の 社会貢献

一般利用者の貸出人数・冊数 ※1

3,460人 8,225冊



徳大図書館は一般利用者も利用できて、生涯学習にも貢献



一般利用者の貸出冊数は、
15年前の8倍、
10年前の3倍
まで増加。

メディア等掲載回数 ※1

14回



一般の方への報道は大切

郷土資料所蔵冊数

3,630冊



郷土研究に必要な資料を収集

古地図・絵図所蔵枚数

247点



伊能図を始め、近世史研究に重要

高精細画像公開枚数

54点



古地図・絵図の微細な描写を世界中のどこからでも閲覧可

掲載許可件数 ※2

23件/年



貴重資料の掲載には許可が必要

蜂須賀家臣成立書并系図家譜数

1,802家

蜂須賀家の中間層の家臣に関する個人情報。近世の大名家家臣団研究や先祖調査などに活用できる。



近世家臣団研究にとって重要な資料

学術講演会参加人数

50人



学術講演会は年1回開催

※1「徳島大学附属図書館年次報告書 平成28年度」p.7~p.8, p.28 参照（図書館としての数値：または本館と蔵本分館の合計値）

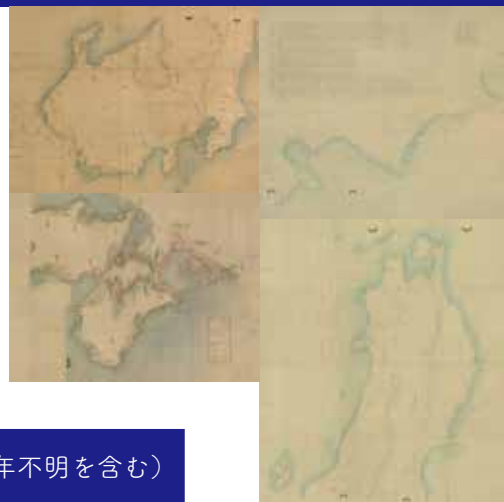
※2 平成28年度に申請のあった掲載許可申請書枚数（平成28年度）





貴重資料

附属図書館には、江戸時代に阿波（徳島県）と淡路（兵庫県淡路島）の両国を支配していた徳島藩及び蜂須賀家ゆかりの資料が収蔵されている。これらは近世における地域史や藩政史の研究資料として学外からの利用だけでなく、郷土徳島を知る手がかりの資料として地域の人々にデジタル公開している。



近世古地図・絵図コレクション

江戸初期～明治期（作成年不明を含む）

附属図書館には、200点を越える絵図・古地図類が貴重資料として所蔵されており、いずれも学術・文化的価値が高い資料である。そのおもな内訳は「徳島」55点、「全国」20点、「諸国」61点、「江戸」79点、「京都」16点、「世界」16点となっている。これらの古地図の中には、蜂須賀家旧蔵の大集書であった「阿波国文庫」の印影が押されている資料が含まれる。

阿波国（徳島県）・淡路（兵庫県）関連

「徳島」の中には、阿波国・淡路国の国絵図（5鋪）^{注1}をはじめ、徳島や洲本の城下絵図、近世後期の実測分間絵図（郡図・村図）、川絵図や村絵図などが含まれている。

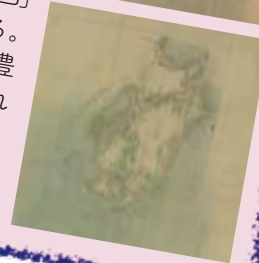


左：阿波国大絵図
右：御城下絵図



伊能図（伊能忠敬の関係する絵図）

「全国」の古地図の中には、伊能勘解由（忠敬）が作成した「沿海地図」（東日本3鋪；1804年）や「大日本沿海図稿」（西日本4鋪；年不詳）の中図、慶応3（1867）年に幕府開成所から発行された「官板実測日本地図」（東日本4鋪）がある。「諸国」の中には、「豊前国沿海図」が含まれている。



大日本沿海図稿
（上：南海，下：西海）

世界図・地球図

海外から入手した地図をもとに、わが国で近世後期から幕末期に刊行された世界図・地球図のうち、「重訂万国全図」「地球輿地全図」「萬国総界図」などが含まれる。多くは木版色刷図となっている。

（注1）国絵図とは

国絵図とは、慶長10（1605）年、正保元（1644）年、元禄10（1697）年及び天保6（1835）年に幕府が各大名に命じて調進させたもので、寛永年間（1624～1644年）にも幕府巡見使を通じて献上されたといわれている。これら幕府に提出されたもののうち、幕府が直接作成した天保国絵図を除いては多くが失われているが、諸藩が所有した控図や下図が今日に伝えられている。



蜂須賀家家臣成立書并系図

天保5(1834)年～文久元(1861)年(一部江戸初期, 明治期を含む)

「蜂須賀家家臣成立書并系図」は、徳島藩士各家が代々の家督相続者について、召出・相続・隠居・死亡の期日、禄高、役職及び系図・家紋などを書き上げ藩庁に提出した歴史的価値の高い資料。天保5(1834)年に作成され、その後文久元(1861)年に書き継いだものが大部分であるが、一部寛政年間や明治期に書かれたものを含む。

提出者は家老などの重臣から無足人と呼ばれる下級家臣までのすべて渡るが、重臣の家譜にあたるものは現在も蜂須賀家が所蔵し、最下級の家臣についての部分は国文学研究資料館に収蔵されている。徳島大学で所蔵しているのは最上級と最下級を除く、いわば家臣団の中核にあたる1,802家の家譜であり、近世における国持大名家臣の様相について多様な情報を有する貴重な資料である。収蔵時は各家譜ばらばらの状態であったが、収蔵後に裏打ちや和装を施すなど長期保存のための処置を行い、249冊に分け整理、保存している。



図書館の貴重資料デジタル化事業

蜂須賀家臣団家譜資料データベース



研究資料であり、家臣の子孫にとって先祖を知る手がかり。

徳島大学附属図書館では貴重資料の利用と保存を両立させる手段の一つとして、貴重資料のデジタル化を行っている。江戸時代に阿波国・淡路国を支配していた徳島藩及び蜂須賀家が所蔵していた資料の中から蜂須賀家家臣団(重臣・最下臣除く)の家系譜や役職などの情報を検索できるシステム、全国的に知名度の高い「伊能図」などの高精度画像をインターネット上に公開している。

貴重資料高精細デジタルアーカイブ



近世の古地図・絵図を鮮明に閲覧可能。



伊能図学習システム

地理情報システム(GIS)との連動で伊能図作成時の測量・作図技術がわかる。





特殊資料

個人文庫

江戸中期～近現代（作成年不明含む）

附属図書館には、長い開館の歩みの中で徳島にゆかりのある人物が所蔵していた郷土史料・和漢書、江戸期の医学書に関する史料を「個人文庫」として所蔵・保存している。また、その他の資料として、喜田貞吉関係の自筆原稿及びノート、書簡などの資料を所蔵している。

泉山文庫（本館所蔵，2,843点）

郷土史家・島田麻寿吉（しまだ・ますきち，1874-1947）氏旧蔵の郷土資料及び和漢書のコレクション。



江戸時代から昭和初期にかけて刊行された一般に流布している書物が中心であるが、日本史関係の図書や史料が系統的に収集されている。

島田麻寿吉は徳島県阿南市生まれの郡会議員であると共に、郷土徳島を実地調査によって、郷土史研究を行った人物。「泉山」は麻寿吉の号を示す。（※1）

布川文庫（蔵本分館所蔵，299点）

徳島県阿波市土成町在住の村会議員であった布川清二郎（ふかわ・せいじろう）氏旧蔵の江戸時代後期の天和期から寛政期に及ぶ医学書。古医書『編註医学入門』、『切要方義』や、朝鮮李朝の最上の医書として尊重された『東医宝鑑』の訂正版である『官刻訂正東医宝鑑』などの東洋医学書、本草学などの医薬に関する図書、『論語』等の東洋思想書などが含まれる。（※2）



山西家文庫（本館所蔵，165点）

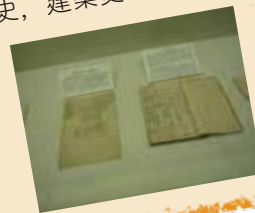
江戸時代の中期以降撫養（鳴門市）で廻船問屋を営んでいた山西家の古文書。山西家は、徳島藩の専売品である塩を輸送し江戸から肥料を仕入れて徳島に帰るといふ廻船業からはじめ、江戸時代の末期には北は北海道から南は九州を結ぶ流通を、多くの手持ち船を経営して行っていた。

徳島大学には、「船手算用帳」をはじめ約165点の史料の寄贈を受けて、大切に保管している。（※3）



喜田貞吉関係資料（本館所蔵，830点）

徳島県那賀郡檜淵村（現在の小松島市）出身の歴史学者である喜田貞吉（きた・さだきち 1871~1939）の自筆原稿及びノート、書簡等の資料。日本歴史地理研究会を組織して学術雑誌『歴史地理』を発刊。古代史、建築史に多大の貢献がある。郷土史研究への貢献も大きく、多くの後進を育てた。（※4）



※1 日本の大学所蔵特殊コレクション (http://tksosa.dijtokyo.org/?page=collection_detail.php&p_id=541) 抜粋。
※2 日本の大学所蔵特殊コレクション (http://tksosa.dijtokyo.org/?page=collection_detail.php&p_id=543) 抜粋。
※3 徳島大学附属図書館報メールマガジン「すだち」2005/07/19 No.6 抜粋。
※4 ブリタニカ国際大百科辞典



大型コレクション

収蔵年は下表（設置年）に記述

大型コレクションとは、昭和53年以降に文部科学省（旧文部省）から全国共同利用外国図書購入費（大型コレクション）の配分を受けて収集し、学内外の利用に供している特別資料で、以下の資料を所蔵している。

文庫名	内 容	設置年
府県統計書集成（明治・大正・昭和戦前）	マイクロフィルム 1,140 巻。各都道府県の土地・人口・農業・産業教育等に関する統計の集大成。	昭和 59 (1984) 年度 本館収蔵
Industrial Relations and Labor Management. 1942-1978	（労働関係等学位論文）776 冊。米国の労働関係の学位論文リプリント集。	昭和 61 (1986) 年度 本館収蔵
The Wall Street Journal & Index. Silver Format Ed. [1889-1987] index [1955-1985]	マイクロフィルム 539 巻, 冊子 31 点 33 冊, 索引。米国の著名な経済紙のバックナンバーコレクション。世界経済を研究するための重要文献。	昭和 63 (1988) 年度 本館収蔵
空中写真 四国東部地域（建設省国土地理院）	約 5,700 枚。撮影年度昭和 49~53 年。撮影縮尺 8 千分の 1~1 万 5 千分の 1。地形・建造物の立体視が可能であり、地形・地質等の基礎資料で地理学・経済学等の広範な利用が可能。	平成 3 (1991) 年度 本館収蔵
静嘉堂文庫所蔵古辞書集成	マイクロフィルム 178 巻（原本 361 点 2,137 冊）。平安から明治初期の古辞書、考証・研究書の集大成。	平成 5 (1993) 年度 本館収蔵
Landolt-Börnstein Numerical data and functional relationships in science & technology	（ランドルト＝ベルンシュタイン数値表）59 冊。物理・化学・天文・地球物理・工学にわたる広範囲な物理定数表。	平成 7 (1995) 年度 本館収蔵
Galen: Omnia quae extant opera 11 vols in 7. 1550-51	（ガレノス全集）7 巻。1550~1551 年にヴェネチアで刊行。古代ギリシアの医学者ガレノスの業績集大成。	平成 11 (1999) 年度 蔵本分館収蔵





徳島大学古本募金

徳島大学古本募金とは.....

徳島大学古本募金は、徳島大学基金が運営しているプロジェクトのひとつで、皆様が読み終えた本等をお送りいただき、その売り上げが附属図書館の学生用図書等の充実に活かされる仕組みであり、平成28年10月から開始している。

徳島大学古本募金の方法

徳島大学古本募金に御協力頂ける方は、下記の2通りの方法から便利な方を選択できる。

方法1 ご自宅に直接受取に伺う方法

5冊(5点)以上ご寄附いただける場合は、お電話またはWebフォームからお申込みすると送料が無料となる。詳細は「徳島大学古本募金」のホームページに掲載している。

☎ 0120-826-292

(受付月~土曜/10時~21時, 日曜/10時~17時, 年中無休)



宅配便

方法2 学内設置の回収箱へ投入する方法



回収箱は新蔵地区、常三島地区、蔵本地区の構内にそれぞれ設置している。匿名での寄付をご希望の場合はこちらへどうぞ。有志一同として図書館でまとめて送付する。回収箱の設置場所は次頁参照。

問い合わせ先

徳島大学附属図書館(総務係) ☎770-8507 徳島市南常三島町2丁目1番地
Tel. 088-656-7584 E-mail :tssoumuc@tokushima-u.ac.jp





徳島大学基金 徳島大学古本募金

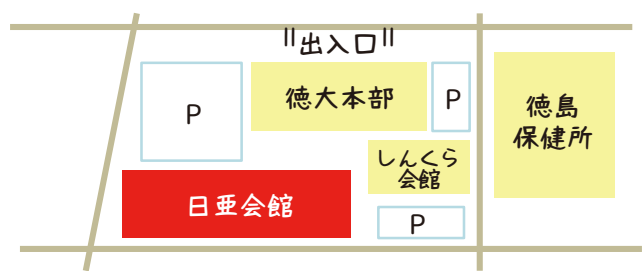
チャリ本

回収箱設置のご案内

charity book

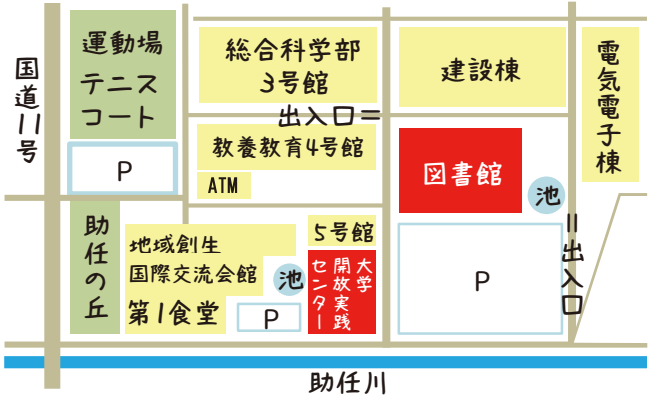
新蔵

日亜会館 1階 入口付近



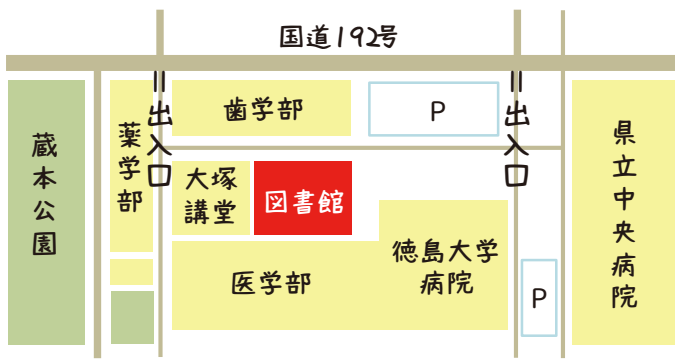
常三島

図書館本館 1階 入口付近
大学開放実践センター 1階 玄関ホール付近



蔵本

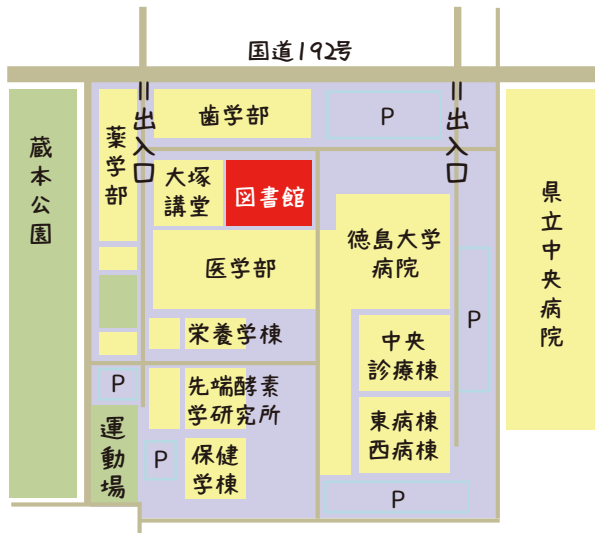
蔵本分館 1階 入口付近





所在地・交通案内

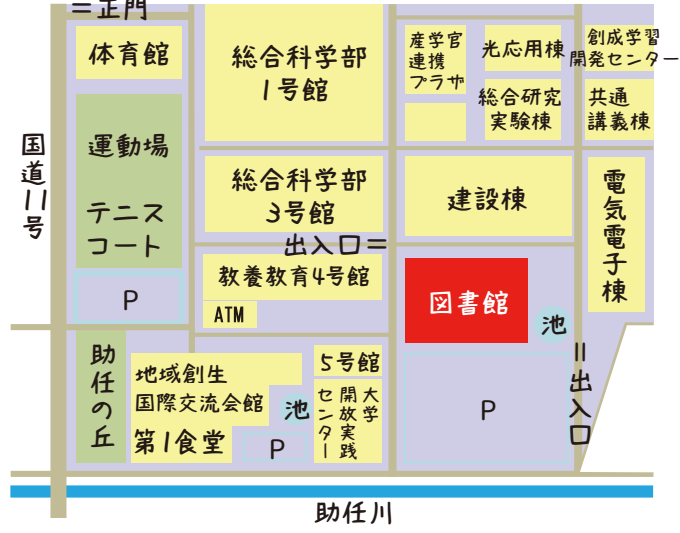
徳島大学蔵本地区MAP



◎蔵本分館
 〒770-8508 徳島市蔵本町3丁目18番地の15 蔵本キャンパス内

【徳島空港から】
 ・徳島駅行リムジンバスに乗り、「徳島駅」下車、バスまたはJR乗換え
【JR徳島駅から】
 ・徳島市営バス 徳島駅前から
 「上鮎喰」行、「地藏院」行、「名東」行、「天の原西(延命)」行乗車
 「蔵本中央病院・大学病院前」又は「医学部前」で下車、徒歩約5分
 「中央循環線(右回り)」行乗車、
 「蔵本中央病院・大学病院前」で下車。「医学部前」は停車しない
 ・徳島バス 徳島駅前から
 「鴨島方面」行・「石井循環線(右回り)」に乗り、
 「蔵本中央病院・大学病院前」又は「医学部前」で下車、徒歩約5分

徳島大学常三島地区MAP<部分図>



◎本館
 〒770-8507 徳島市南常三島町2丁目1番地 常三島キャンパス内

【徳島空港から】
 ・徳島駅行リムジンバスに乗り、「徳島大学前」下車、徒歩約5分

【JR徳島駅から】
 ・徳島市営バス 徳島駅前から
 「島田石橋」行、「商業高校」行に乗り
 「助任橋」又は「徳島大学前」下車、徒歩約5分
 「中央循環線又は川内循環線(左回り)」等に乗り
 「助任橋」又は「徳島大学前」下車、徒歩約5分





徳島大学
附属図書館（本館）HP



徳島大学
附属図書館（蔵本分館）HP



徳島大学
古本募金 HP



徳島大学
機関リポジトリ HP



 **徳島大学にご支援を！**

徳島大学基金

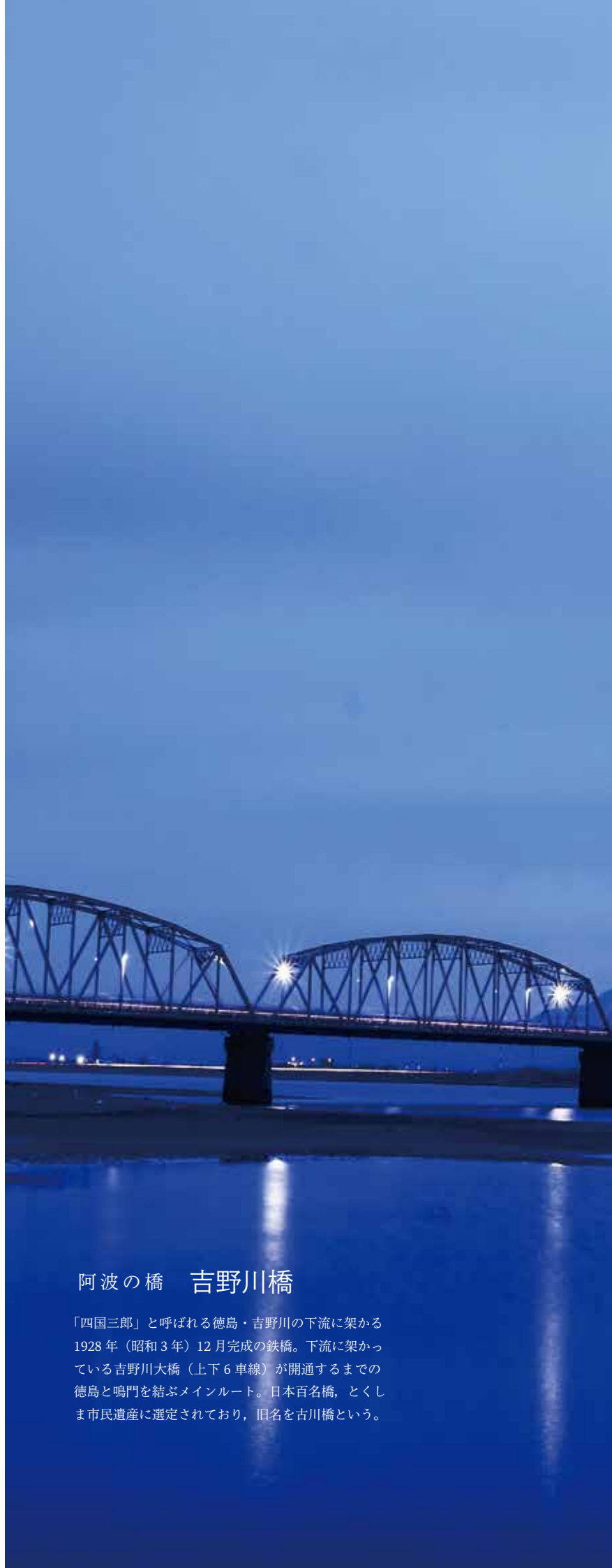
検索 



発行：徳島大学附属図書館
〒770-8507 徳島市南常三島町2丁目1番地
Tel. 088-656-7584

徳島大学附属図書館ホームページ
<http://www.lib.tokushima-u.ac.jp>

平成 29 年 11 月発行



阿波の橋 吉野川橋

「四国三郎」と呼ばれる徳島・吉野川の下流に架かる1928年（昭和3年）12月完成の鉄橋。下流に架かっている吉野川大橋（上下6車線）が開通するまでの徳島と鳴門を結ぶメインルート。日本百名橋、とくしま市民遺産に選定されており、旧名を古川橋という。